

第 92 回 SNJ 定例会第二部議事録

- ◎ 件 名 第 92 回 SNJ 定例会第二部議事録
- ◎ 日 時 平成 31 年 2 月 16 日（土）9:00-11:00
- ◎ 場 所 ホテルラフォーレ伊東
静岡県伊豆市猪戸 2-3-1
TEL: 0557-37-3133

- ◎ 出席者 11 名

各位

日本大学	中村			労働安全衛生総合 研究所	北條
	高橋				
大同信号	寺田			JR 東日本	川野
					小向
北陽電機	竹内			鉄道信号関連 技術職	菊地
株式会社コア				ピルツジャパン	太田
					若林
東京理科大学					杉原

I 講演

「組織プロセスに目的達成の仕組みを組み込むー考察」－組織が目指す姿の実現に人材育成と機能安全規格適合も含める方法（菊地）

- ・ I Competency Dictionary は IT 人材育成のために作られたシステムであるが、IT 以外の分野でも、企業が人材育成と経営戦略実行を同時に実現するために有効なアプローチである。
- ・ 企業が新規事業を実行するには、現状と違う組織機能が必要であり、新たな役割の新設、役割を遂行できる人材が必要である。
- ・ 経営戦略を「実行できる」とは、組織が経営戦略実現に必要なタスクを実行することである。
- ・ 必要なタスクを実行するためには、①必要なタスクの定義、②定義されたタスクの実行、③定義されたタスクが実行できるかどうか評価できる必要がある。
- ・ 新製品開発を「成功させる」ためには必須製品の必須要求事項を実現するために、実現タスクとして定義する必要がある。
- ・ まったく何もないところからタスクを定義するのは難しいため、評価アーキテクチャとして iCD を導入する。
- ・ iCD をひな型として、自社のタスク（あるべき姿）を定義する。
- ・ タスク定義後に、必要なタスクを実行する役割（実行する能力を持つ人材）を設定する。
- ・ 役割の評価基準を設定する。
- ・ 企業が経営戦略実現に必要なタスクを定義した後、どのような能力を持つ人材がどのくらい必要か「タスクディクショナリ」によって明らかにする。
- ・ タスクディクショナリにはタスク、タスクの評価項目、タスクプロフィール（複数タスクの集合）、タスク評価の診断基準が含まれる。
- ・ 評価の基準として iCD では、レベル 0（知識、経験なし）～レベル 4（他者を指導できる、またはその経験あり）までの診断レベルを設定している。
- ・ iCD を用いて、IEC 61508、ISO/IEC Guide 51 の規格から一続きのプロセスフローを整理・構成することで、規格適合できるタスクを具体化できる例が示された。
- ・ iCD をひな型としてタスク化する仕組みは、組織が経営戦略を実現する土台として活用できる。

II 報告事項

次回定例会の詳細が決まり次第、事務局より連絡。

III 審議事項

- ・ 本年度の定例会、来年度の総会日程を審議の結果、以下のように決定。[]内は講師および会場。第 93 回 4 月 9 日（火）[調整中、日大理工学部駿河台校舎]、第 94 回 6 月 7 日（金）[中村、JR 東日本本社]、第 95 回 10 月 18 日（金）[柚井、大同信号]、第 96 回 12 月 6 日（金）[若林他 1 名調整中、ピルツジャパン他]、第 97 回(第 20 回総会)2020 年 2 月 14 日（金）～15 日（土）[高橋、未定]。

以上